

大崎圏域の活性化と発展を目指して
大崎定住自立圏形成協定合同調印式

1月26日、三本木総合支所ふれあいホールを会場に、大崎定住自立圏を構成する大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の1市4町の首長による、「大崎定住自立圏形成協定合同調印式」が行われました。

定住自立圏とは、中心となる自治体に都市機能を集約し、周辺の自治体では生活機能を確保しながら、互いの連携と協力のもとに住みよいまちづくりを進め、圏域全体の活性化を図るものです。

大崎圏域では、平成22年に1回目の大崎定住自立圏形成協定を締結し、平成24年に策定した「大崎定住自立圏共生ビジョン」に基づいて、広域的なまちづくりを進めてきました。

この共生ビジョンの取り組みの最終年度が、平成28年度であるため、1市4町で見直し作業を行い、平成29年度から33年度を期間とする新しい



▲大崎圏域5つの自治体の手を携えて

共生ビジョンを整え、今回の調印式となりました。

大崎定住自立圏では、今後も、医療・産業振興・教育・施設利用・消費生活・地域防災などの生活機能、地域公共交通・ICT(情報通信技術)・交流移住などの結びつきやネットワーク、人材育成などの圏域マネジメント力の強化などについて、1市4町が連携し協力しながら、圏域全体の活性化と発展を目指していきます。

トランススイート四季島
受け入れ大崎市実行委員会を設立

2月13日、岩出山地域のスコーレハウスを会場に、「トランススイート四季島受け入れ大崎実行委員会設立総会」が開催されました。

上野駅を起点に、東北や北海道を舞台にした上質で洗練された最上級の列車の旅を提供する、JR東日本の「トランススイート四季島」の運行が本年5月にスタートします。夏と冬には、陸羽東線を走行し鳴子温泉駅に停車することが決まりました。

実行委員会は、観光や地域づくりなどに関わる団体や事業者、JR、市が連携して四季島の利用者をおもてなしし、大崎市のイメージアップや豊富な観光資源を発信するため組織されました。また、宮城県が平成31年度の開催を目指す「ディスプレイネーションキャンペーン(＝大型観光キャンペーン)」やインバウンド(＝外国人観光客受け入れ)に向



▲四季島の受け入れを機に、新たな観光振興推進体制へ

けて、市の観光振興推進体制の再構築を目指します。

この日は、当面の計画として、ポスターやのぼり旗を作成して、おもてなしの機運を高め、地域を挙げた歓迎セレモニーやマルシェなどを開催するほか、車内での地場産品や伝統工芸のカタログ販売に向けた商品開発などを推進していくことが確認されました。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



田尻発

900人を超える選手が田尻に集結

2月5日、田尻クロスカントリー大会が、田尻総合体育館を発着点とするコースで開催されました。秋田県や岩手県、和歌山県からも選手が参加し、小学生から79歳までの926人が、2,500メートルから10,000メートルまでの10種目で自慢の健脚を競い合いました。

5,000メートルを超えるコースでは、地域の皆さんがボランティアで給水所を設置。手づくりの小旗を振りながら、駆け抜ける選手たちに大きな声援を送っていました。



▶号砲を合図に、一斉に飛び出す選手たち



古川発

発酵で農業・地域経済・市民を元気に

2月4日、「おおさき発酵と食文化フォーラム～おおさきの文化をつくる食産業～」が開催されました。

第1部は基調講演が行われ、宮城大学食産業学部フードビジネス学科准教授の金内誠氏から「おおさきの発酵食文化とビジネスの可能性」と題して、発酵の仕組みや歴史、薬としての効能、発酵商品開発などについて、分かりやすく話されました。第2部のパネルディスカッションでは、大崎地域で発酵食産業に携わる4人の皆さんから、これからの夢やアイデアが提起され、第3部の食味会では、大崎の地酒で乾杯した後、発酵食品をふんだんに使った料理を堪能しました。

発酵が秘める力を知り、発酵の魅力に触れるひとときとなりました。



発酵で農業を、地域経済を、市民を元気に!

鹿島台発

文化や伝統を感じさせる、さまざまな音楽の共演



▲この日のために結成された、大崎市祝祭合唱団の皆さんの伸びやかな歌声が会場に響く

2月4日、鹿島台瑞・華・翠交流施設鎌田記念ホールを会場に、「第2回春をよぶ音楽祭」が開催されました。

古代笛の音色とともに幕が上がり、民謡や童謡、クラシック音楽など、ジャンルの豊かな音楽が会場を包んでいました。また、この日の出演者たちで結成した合唱団が大崎市民歌を披露した場面には、一緒に口ずさむ観客の姿もあり、会場一体で音楽を楽しむ機会となりました。

2017
2月の主な出来事

24日	●世界農業遺産2次審査(フレスコテーション・農林水産省)
16日	●議定会
14日	●第5回「富県宮城グラプリ」受賞報告会
13日	●トランススイート四季島受け入れ大崎市実行委員会設立総会
12日	●おおさき高校生タウンミーティング
8日	●大崎市定住自立圏共生ビジョン懇談会
5日	●第46回田尻クロスカントリー大会
4日	●新大崎市民病院改築プラン住民説明懇談会(5日・11日) ●第2回春をよぶ音楽祭 ●おおさき発酵と食文化フォーラム



▲富県宮城グラプリ部門賞を受賞した(株)新澤醸造店(左)とNPO法人未来産業創造おおさき(右)